

お母さんありがとう、田池留吉嬉しいですよ、と目を閉じれば、丹田呼吸に入れば、心の奥から込み上げてきます。

特に最近では田池留吉を思えば、有難う、有難う、嬉しいですよ、と続けるようにでてくるのです。続いて、長い間待って、待ってくださって有難うございます、と続きます。

肉の思いで一時期どれだけの憎み、恨み、罵り、云うこととすることが違う、と散々肉の田池留吉を責めた時が浮かんできます。それでもこの私を、気付くまで許し、許して、待って、待ってくださったことを、しみじみ思い出しています。もちろん幼稚な私は、肉、肉の思いばかりで、田池留吉を見て刑事根性で自分を誇り見下げてきました。

これでは意識、神の子、神どころか、闇、闇を積み重ね積み重ねてばかりでした。私はそのことが、今、はっきりと分かるのです。田池留吉の優しく、広い、広い波動をかいま見ることができ、今、田池留吉に対して取ってきた自分の愚かさを、今、心に染みてよくわかってきました。自分の愚かさを知ると共に、波動の優しさ、大きさ、こんなに愚かな私を受け入れ、待って待って下さったことを、今、心から、感じ嬉しくてたまりません。

田池留吉の波動を分かるには、自分自身が喜びの波動に変わらない限り、田池留吉の波動などわからないことも分かってきました。闇の心一杯で苦しみばかりの心で、人の心、ましてや田池留吉の波動など分かる筈がありません。自分が喜びの心一杯なら、相手の人も喜びに見えることでしょう。私は、今、この学びもみんなが変わっていく様子を、いろいろの現象で見っていますが、いつまでも同じ人も見えています。

かつては田池留吉を自分の都合で、責め、恨み、殺して仕舞いたいくらいに憎んだ私が、今、思うだけで心が嬉しさに踊り、今世会えたことが奇跡にさえ思える喜びになりました。田池留吉と思うだけで、心がうれしさに踊り、自分の心の中にこの上もなく喜びの波動を感じる、今の状態になったのは、あの優しい目をした田池留吉のおかげです。

私は思います。田池先生が究極的に思われる、求められる者にはとても達しません。今のこの喜びの心を得ることができたことを感謝し、いつまでもこの心を見詰めていけることを、楽しんで死んでいきたいと私は思います。死は喜び、死はこわくない心、これらは今のこの心境です。

肉の田池留吉の波動を感じる、私のすべてを変えてしまいそうです。私は、今、そのことを感じ、出来そうな気がします。肉の田池留吉の波動をことん信じて行きます。